

国臨協関信支部埼玉地区会

令和 4 年度 第 13 号 会報誌



令和 5 年 7 月発行

会長挨拶

NHO東埼玉病院

小沼 進吉



■会員の皆様には地区会活動に対しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

■さて、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけについて、5月8日以降、「5類感染症」となり、規制緩和が進んでいく状況です。研修会や学会等もWeb開催から、ハイブリッドあるいは集合形式での開催に戻りつつあります。一方、6月に入りコロナの陽性者は徐々に増加傾向となり、第9波の入り口との指摘もあります。我々医療従事者としては、引き続き感染対策を怠ることなく、今一度気を引き締めて業務にあたらねばと、再認識しているところです。会員の皆様には、心身共にご苦労されている日々が続いていることと推察いたします。ご自愛ください。

■今年度の埼玉地区会活動につきましては、先の総会にてご承認いただきました事業計画に則り進めて行く予定ですが、事業運営のWebを利用した企画も検討中であり、具体的な活動にまでは至っておりません。

■最後に、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げますとともに、皆様との再会を心待ちにしております。

～新人紹介～

NHO東埼玉病院

工藤 元記



4月1日付で茨城東病院から移動してまいりました東埼玉病院の工藤元記です。以前、東埼玉病院に勤務しており埼玉地区会には6年ぶりに戻ってまいりました。東埼玉病院は少し整備されたバス道路以外、病院も周りの景色もほとんど変わりなく安堵いたしました

三年間の単身赴任中はコロナ過もあり、あまり自宅に帰ることが出来ませんでした。そのため今は家での自分の居場所を探しているところです。

昨年まで三年間いた茨城地区会ではコロナ過のため集合型の地区会活動が出来ず、一度も他施設と交流する機会がありませんでした。埼玉地区会では皆様方と交流が待てばいいなと思っております。今後とも、よろしくお願いいたします。

NHO埼玉病院

小川 輝子



4月1日付に災害医療センターから異動して参りました小川輝子です。

令和4年度埼玉地区会事務局長を前事務局長の小関技師長の後任として務めさせていただくことになりました。埼玉地区会の皆さま、よろしくお願いいたします。

25年前、常勤採用となったのが埼玉病院でした。ランチへの移行を経験し密度の濃い10年を過ごしました。今の埼玉病院は病院も立て直しを行い以前の病院の面影は全くありません。トイレが以前と違いとてもきれいで感激しました。

埼玉病院のスタッフは明るく朗らかで勤勉です。温かく迎え入れていただき感謝しています。ISO15189 は初めて触れる領域で、異動当初はどこから手を付けばよいのかグルグルと長い迷路の中にある気持ちでしたが、運尾技師長をはじめ、スタッフの皆さんにご指導いただき、迷路の出口を目指し歩き出したところです。微力ながら精いっぱい努めて参ります。よろしくお願いいたします。

NHO埼玉病院

濱田 大輔



令和5年4月1日付けで横浜医療センターより異動して参りました濱田大輔と申します。

埼玉地区会は創設時に事務局長を担当しており、6年ぶりに戻ってまいりました。埼玉病院でも細菌検査を担当しておりますが、施設が変わると細かな部分でいろいろと違っていることがあり、覚えることが多く日々奮闘しております。ISO15189 取得施設の勤務が初めてのため、わからない事が多く埼玉病院の方々にはお世話になりっぱなしの状況です。

新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、以前のように地区会が対面型になり埼玉地区会の皆様とお会いできる機会があることを期待します。

NHO埼玉病院

金沢 あずさ



令和5年4月1日付けで千葉県国立国際医療研究センター国府台病院より国立病院機構埼玉病院へ異動になりました、金沢あずさと申します。最寄り駅が、大雨で駅周辺がリアルレイクタウン化するとともに住んでいます。趣味は編み物(かぎ針)で、最初はエコたわし等すぐにできる上がる小物を作っていましたが、だんだんと大物を作ることにハマってミニバッグと少しずつ大物を作る様になり、最近はショールやブランケットを作ったりしています。作るのが趣味なので作った物は使う予定もなく、完成した作品や、この色の糸でこういうの作りたいと思いついて買ってしまう毛糸が増え続けています。作成過程が楽しいので、作って欲しい物がありませんでしたら、気軽にお声かけください。

最後になりましたが、埼玉地区会の皆様、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

NHO埼玉病院

林 空音



4月1日付で精神・神経医療研究センター病院から埼玉病院に異動となりました、林 空音（はやし そらね）と申します。

精神神経センターでは生理検査室で主に脳波検査をさせていただいていたのですが、埼玉病院では全く別部門である病理検査業務をさせていただくことになり、わからないことばかりで特に4月の初め頃は大変混乱していました。入ってから約2か月ですが、優しく面倒見の良い先輩方に支えられながら毎日少しずつ新しい業務を習得しています。また病理検査のみならず採血業務や当直業務などこれからしばらくは新たに覚えることばかりで気の抜けない日が続きそうです。ご迷惑をおかけすること多いかと思いますが、温かい目で見守っていただけると幸いです。

今年個人的にやりたいことは、車の購入です。原付での通勤を卒業し、雨の日も風の日も快適に通勤できるようになることを夢見て、日々の業務に邁進していきます。よろしくお願いします。

以上 5 名が新しく埼玉地区会に加わりました！！

どうぞよろしくお願いいたします。

～私の趣味～

NHO 埼玉病院 松丸 佳代

私の趣味は旅行とゴールデンカムイを観ることです。

ゴールデンカムイとは明治末期の北海道、樺太、ロシアを舞台にした物語です。アイヌの少女アシバと元陸軍で不死身の杉本や仲間達がアイヌの隠した金塊の在り処を示す暗号を巡り争奪戦を繰り広げます。このアニメをきっかけに初めてアイヌ文化について知りました。もっと詳しいアイヌ文化や北海道の歴史を知りたいと思いGWに札幌に行ってきました。

札幌では大通り公園、北海道大学、札幌市時計台、テレビ塔、札幌市資料館などの観光地を巡り、寿司やカニ飯など北海道の海の幸を堪能しました。

そして、アイヌ文化を知るために札幌から1時間かけて白老にあるウポボイという民族資料館に行きました。ウポボイとはアイヌ語で大勢で歌うことを意味するそうです。そこでは伝統的な踊りや歌、楽器演奏、コタン（家）を見たり、野菜のオハウ（大きな野菜の沢山入った汁物）を食べたり、簡単なアイヌ語を学んだり、とても充実した日を過ごせました。

また、札幌で開催されたゴールデンカムイ展にも行きました。作者が制作にあたり参考にした衣装や銃などの当時の資料や漫画の原画の一部が展示されていました。

作品の世界をより深く知ることができ札幌まで行ってよかったと思いました。

ゴールデンカムイの聖地は小樽、函館、旭川、網走などまだまだ沢山あるのでまた北海道に行きたいと思います。



編集後記

コロナ禍になってから生活ががらりと変わったはずだけど、
今となっては現状が当たり前になっていて、「前はどうかだったっけ？」
と思うことがたくさんあります。(例えば、居酒屋での立ち振る舞いや雰囲気など)
まだまだ気を抜けない状況ではありますが、
少しずつ思い出してみるのも良いのかなと思います。
融合してまた新しいスタイルが発見できるかもしれませんよ！！
「きっと、あともう少し！」と色々楽しみに、健康には留意して日々精進していきましょう。

S.S

